

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2023年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『川のほとりに立つ者は』

寺地はるな◆双葉社

『君のクイズ』

小川哲◆朝日新聞出版

『宙ごはん』

町田そのこ◆小学館

『月の立つ林で』

青山美智子◆ポプラ社

『汝、星のごとく』

凧良ゆう◆講談社

『方舟』

夕木春央◆講談社

『#真相をお話しします』

結城真一郎◆新潮社

『爆弾』

呉勝浩◆講談社

『光のところにいてね』

一穂ミチ◆文藝春秋

『ラブカは静かに弓を持つ』

安壇美緒◆集英社

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は21年12月1日から22年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)

Supported by

NOLTY®
SINCE 1949

手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。